

平成 28 年度

四国企業防災戦略トップセミナーの開催について (案)

1. 目的

四国には、本社や工場を四国に持ち、海外や国内の特定分野においてトップシェア（もしくは3割以上のシェア）や世界レベルの特殊な技術を持つ企業は100社を超えるなど、全国に誇れるオンリーワン企業が多く存在する。

一方、それらの企業が、南海トラフ巨大地震などの大規模災害により被災した場合には、四国はもとより日本経済・世界経済へ多大な影響を及ぼすことが懸念される。

そのため企業が行う減災・防災対策や事業継続計画の策定など早期復旧の為の課題等について、企業と行政を交えて意見交換を行い、各企業における防災体制の充実に資することを目的とする。

2. ご案内者

四国に本社又は工場がある企業、四国内の関係団体、行政 約450社・団体

3. セミナー概要

- 開催日時 平成 28 年 8 月 31 日 14:30~17:15
- 開催場所 かがわ国際会議場 高松シンボルタワー タワー棟 6階
(香川県高松市サンポート 2-1)
- 主催 経済産業省四国経済産業局、国土交通省四国地方整備局
- プログラム
 - I. 開会挨拶 四国地方整備局長
 - II. 基調講演 (予定)
 - 【1部】 ○基調講演者 鈴木工業 (株)
○意見交換
 - 【2部】 ○基調講演者 キリンビール (株) 仙台工場
○意見交換

基調講演者の概要

1. 鈴木工業株式会社

仙台市の地元企業(リサイクル関係企業) 宮城県仙台市

従業員(約90名)が全員で作り上げたBCPを活用し、東日本大震災から、早期の復旧を達成。その後も、震災の経験を生かし自社のBCPの改善を積極的に図っている。その実績から、APECの特別会合をはじめとして、多くの場所でBCP 活動実例を発表。

【発表事例】

○2011年8月2日

APECの防災をテーマした特別会合(18か国・地域が参加)が仙台で3日間開催され東日本大震災での自社のBCP活動実例を発表。

○2015年3月16日

「国連防災世界会議パブリックフォーラム」において、東日本大震災以前よりBCPを導入していた被災地企業としてプレゼンテーション。

○2016年3月15日

「APEC 自然災害に対するGVC強靱性セミナー」において、GVC強靱性向上を重要な経営課題として認識し、取り組んでいる企業の事例として紹介。

2. キリンビール株式会社仙台工場

仙台工場は、宮城県仙台市に所在するキリンビールの東北エリアにおける製品製造拠点。全従業員数は2011年当時で約200名。

地震発生直後から6月末までの約100日間、全従業員が総出で清掃作業にあたる等、従業員が一致団結して復旧作業を実施。震災から6ヶ月後の9月に製造を再開し、11月には震災後初出荷を達成。今回の震災を経て、防災計画等の見直しも行うとともに、「復興応援 キリン絆プロジェクト」として被災した水産業・農業の復興支援を積極的に実施。